

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 ニチレキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5011 URL <http://www.nichireki.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小幡 学
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 後藤 武士 (TEL) 03-3265-1511
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	23,964	23.0	1,416	62.1	1,529	66.7	1,006	79.3
29年3月期第2四半期	19,485	5.8	873	332.6	917	240.7	561	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,726百万円(255.6%) 29年3月期第2四半期 485百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	35.11	—
29年3月期第2四半期	19.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	62,475	47,835	76.6
29年3月期	65,406	46,768	71.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 47,835百万円 29年3月期 46,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	23.00	23.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	56,000	2.9	5,900	2.7	6,000	2.2	3,800	1.0
								132.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	31,685,955株	29年3月期	31,685,955株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	3,013,628株	29年3月期	3,013,613株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	28,672,336株	29年3月期2Q	28,672,462株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調が続きました。しかし一方で、アジア新興国等の経済の不確実性や金融資本市場の変動等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況にありました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、公共投資は底堅さが増し、堅調に推移しているものの、受注競争の激化や資材価格の変動など、引き続き厳しい状況にありました。

当社グループはこのような環境の中で、中期経営計画『Next 2020』の2年目として「市場の拡大と深耕」を最重点課題とする成長戦略に基づき、各施策に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は23,964百万円（前年同四半期比23.0%増）、営業利益は1,416百万円（前年同四半期比62.1%増）、経常利益は1,529百万円（前年同四半期比66.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,006百万円（前年同四半期比79.3%増）となりました。

当社グループの売上高は、通常の営業の形態として、第3四半期連結会計期間から第4四半期連結会計期間において完成する工事の割合が大きいため、第1四半期連結会計期間から第2四半期連結会計期間における売上高に比べ、第3四半期連結会計期間から第4四半期連結会計期間における売上高が多くなるといった季節的変動があります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

「アスファルト応用加工製品事業」

アスファルト応用加工製品事業につきましては、自社製品および工法の設計・受注活動を推進するとともに、原材料価格変動への対応、経費の削減等に努めてまいりました。当第2四半期連結累計期間の売上高は7,635百万円（前年同四半期比21.3%増）、セグメント利益は1,709百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。

「道路舗装事業」

道路舗装事業につきましては、発注物件への工法提案や受注活動と工事の着実な執行に加え、原価管理の強化を進めてまいりました。当第2四半期連結累計期間の売上高は16,184百万円（前年同四半期比24.0%増）、セグメント利益は753百万円（前年同四半期比134.9%増）となりました。

「その他」

その他につきましては、不動産賃貸収入などにより、売上高は144百万円（前年同四半期比3.2%増）、セグメント利益は107百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて2,930百万円減少し、62,475百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が5,755百万円減少、投資有価証券が1,570百万円、長期預金が1,005百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて3,997百万円減少し、14,640百万円となりました。これは、買掛金が1,923百万円、未払金が501百万円、未払法人税等が1,118百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,066百万円増加し、47,835百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が721百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の業績予想につきましては、平成29年8月8日発表の数値を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,604	18,234
受取手形及び売掛金	19,006	13,251
電子記録債権	1,253	1,513
商品及び製品	900	850
未成工事支出金	222	513
原材料及び貯蔵品	750	733
未収還付法人税等	—	272
繰延税金資産	508	401
その他	491	1,019
貸倒引当金	△22	△14
流動資産合計	42,716	36,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,843	5,871
機械装置及び運搬具（純額）	3,002	3,254
土地	4,357	4,357
リース資産（純額）	246	270
建設仮勘定	64	85
その他（純額）	570	587
有形固定資産合計	14,084	14,425
無形固定資産		
その他	287	402
無形固定資産合計	287	402
投資その他の資産		
投資有価証券	4,868	6,439
関係会社出資金	809	809
関係会社長期貸付金	750	750
繰延税金資産	368	360
長期預金	1,115	2,120
その他	581	567
貸倒引当金	△61	△58
投資損失引当金	△116	△116
投資その他の資産合計	8,317	10,873
固定資産合計	22,689	25,701
資産合計	65,406	62,475

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,481	5,557
短期借入金	700	700
未払金	3,054	2,553
未払法人税等	1,405	287
賞与引当金	788	852
その他の引当金	300	113
その他	1,524	1,040
流動負債合計	15,255	11,103
固定負債		
長期末払金	29	6
リース債務	228	249
長期預り金	48	48
繰延税金負債	652	992
環境対策引当金	0	0
退職給付に係る負債	2,317	2,134
資産除去債務	104	105
固定負債合計	3,381	3,536
負債合計	18,637	14,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,919	2,919
資本剰余金	2,017	2,017
利益剰余金	41,271	41,618
自己株式	△1,778	△1,778
株主資本合計	44,430	44,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,159	2,880
退職給付に係る調整累計額	179	177
その他の包括利益累計額合計	2,338	3,058
純資産合計	46,768	47,835
負債純資産合計	65,406	62,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	19,485	23,964
売上原価	14,984	18,735
売上総利益	4,500	5,228
販売費及び一般管理費	3,627	3,812
営業利益	873	1,416
営業外収益		
受取利息	16	16
受取配当金	66	75
為替差益	—	15
その他	9	10
営業外収益合計	92	118
営業外費用		
為替差損	42	—
その他	5	5
営業外費用合計	48	5
経常利益	917	1,529
特別利益		
固定資産売却益	12	8
受取補償金	10	4
その他	—	3
特別利益合計	22	15
特別損失		
固定資産除却損	14	6
退職特別加算金	4	—
災害による損失	18	—
その他	0	0
特別損失合計	36	7
税金等調整前四半期純利益	903	1,538
法人税、住民税及び事業税	257	394
法人税等調整額	85	138
法人税等合計	342	532
四半期純利益	561	1,006
親会社株主に帰属する四半期純利益	561	1,006

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	561	1,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	721
退職給付に係る調整額	2	△1
その他の包括利益合計	△75	719
四半期包括利益	485	1,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	485	1,726

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	アスファルト 応用加工製品 事業	道路舗装 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,295	13,050	19,345	140	19,485	—	19,485
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,349	—	3,349	26	3,376	△3,376	—
計	9,644	13,050	22,694	167	22,861	△3,376	19,485
セグメント利益	1,551	320	1,872	106	1,978	△1,104	873

(注)1「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、損害保険代理事業等であります。

2 セグメント利益の調整額△1,104百万円にはセグメント間取引消去△72百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,032百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	アスファルト 応用加工製品 事業	道路舗装 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,635	16,184	23,819	144	23,964	—	23,964
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,227	—	4,227	28	4,255	△4,255	—
計	11,862	16,184	28,046	173	28,220	△4,255	23,964
セグメント利益	1,709	753	2,462	107	2,570	△1,153	1,416

(注)1「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、損害保険代理事業等であります。

2 セグメント利益の調整額△1,153百万円にはセグメント間取引消去△61百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,092百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。